



発刊30記念号（平成26年9月吉日発行）

一年の中で最も気持ちのよいシーズンとなりました。縁成す丘みちる園でも心地よい風が吹き流れ当園の利用者様は周囲を散策したりして笑顔で日中活動を楽しんでいます。今年度新しく入られた利用者様も徐々に園生活に慣れはじめています。これからも日中活動ほかさまざまな行事が企画されています。どんな楽しみが待ち受けているのか期待で胸が膨らみますね！

【特集 みちる園と私】 職員 金井 咲

みちる園の支援員として働き始めて約5ヶ月の月日が経ちましたが、今までの率直な感想を述べますと、園全体の雰囲気が明るく、笑顔が多い場所だと感じました。私自身、毎日が楽しいと感じることが出来ます。それを受け、こういったことは常に大切にしていかなくてはならないとも感じました。

未だ「仕事に慣れた」とはとても言い難いのですが、私の周りの様々な利用者の方、スタッフの方々と共に活動していくことで、沢山の刺激を受けながら、充実した時間を過ごさせていただいている。常に初心を忘れずに、今後も日々励んでいきます。



爽やかな晴天に恵まれた平成26年5月9日土曜日。みちる園恒例行事となっている餅つき大会が開催されました。事前に利用者の皆さんが出でました。新鮮なよもぎを混ぜ入れ香り高めの草餅をつきました。利用者と職員が力を合わせ、2キロのもち米をあつという間に弾力のあるおいしいお餅へと変化させました。当日併せて午後には誕生会が開催され、ほろ苦い香り豊かな春の味覚に舌鼓を打ちました。

午後からは誕生会を実施

**みちる園 恒例行事
草餅つき大会開催！**

情報の場

～計画相談支援について～

炎暑の日々も落ち着き、朝夕に秋の訪れを感じるこの頃となりました。さて今回は、計画相談支援についてご説明いたします。昨今、利用者・保護者の皆様には「計画相談支援」という言葉が耳に入っていることと思います。これは

今年度中に「サービス等利用計画」を作成する必要があります。介護保険を利用している方にはケアマネージャーがケアプランを立てますが、これと同じように、障害福祉の分野でも相談支援事業所の相談支援専門員がその人がどんな暮らしを

したいのか、そのためには何のサービスをどのように利用するか、一人ひとりに応じた「サービス等利用計画」（ケアプラン）を作成します。この手続きを「計画相談支援」といいます。その基本的な流れは左記の別表1のとおりです。

皆様をサポートする相談支援事業者については、各事業者との契約が必要となります。また自治体によって事業者の選定方法が異なるため、詳しくは居住地の障がい福祉課や相談支援事業者にお問い合わせください。また、みちる園でもこの秋より相談支援事業を実施予定です。事業開始後は諸々のご相談を相談支援専門員が承りますのでよろしくお願ひいたします。

生活介護管理者 茂木宗一郎

皆様一人ひとりに「サービス等利用計画」が必要となります

平成24年4月から始まつた障害福祉サービスを利用するためには必要な制度です。皆様の中にはすでに受給者証の申請や更新の時に、役所の窓口や相談支援事業所等で「計画相談支援」が必要です、と言わることはありますか？国の方針では、平成26年度中に障害福祉サービスをご利用になる全ての方を対象とするとのことですので、みちる園の利用者様も

(別表1) サービス利用と計画相談支援の流れ

- 【受付・申請】 サービスを利用したい方が役所でサービス利用の申請をします↓
- 【障害支援区分の認定】 認定調査員の方が聞き取りをして区分認定をします↓
- 【サービス等利用計画案の作成】 相談支援事業所がご本人の意向を聴き、計画案を作成します↓
- 【支給決定】 市役所が区分認定とサービス利用計画案をもとに、サービス内容の支給決定をします↓
- 【サービス担当者会議】 ご本人、家族、利用する事業所で支援計画案の内容について話し合います↓
- 【サービス等利用計画】 サービス等利用計画（ケアプラン）ができます↓
- 【サービス利用】 通所事業所・居宅介護・グループホームなど障害福祉サービスの利用ができます↓
- 【モニタリング】 相談支援事業者がご本人の意向と事業所から状況を聴き、計画の見直しをします↓





にぎやかな模擬店も勢揃いして会場を盛り上げます！！

平成26年度納涼祭 が開催されました。

8月23日の土曜開所では、夏恒例の納涼祭が開催されました。数日前

より担当職員と利用者

さんが協力して会場の飾り物や景品の準備を行ってきました。当日会場となつた本館食堂は、夏祭り会場に一変し、景品交換所やお菓子交換所には楽しそうな利用者さんの笑顔が溢れていきました。



シナモンを利かせたチエロスは本場の味！！



盛大に実施された抽選会（会場：食堂）

5月24日(土)に初の大抽選会を開催されました。

寄せられた多くの豪華景品を手にした利用者様は、期待しながら、当選袋をそつと開けていました。

当園初！みちる園豪華抽選会を実施！



←熱氣に包まれた演技会場



よさこいグループ「維新く心ひとつ」 再来園(平成26年4月5日土曜)

アートフレンズ初出展

～自由な発想と創造の素晴らしさを堪能～

平成26年5月20日～25日まで千葉市美術館9階市民ギャラリーにて開催された標記の展覧会（主催千葉幕張ロータリークラブ・後援千葉県教育員会）に当園の利用者が初出展しました。活動の時間を利用して作成した絵画作品3点を公の場に展示し多くの観客の目を楽しませてくれます。このほかの作品も個性的な色使いに圧倒されたり、一瞬の動きを捉えた繊細な作品など見応えあるものばかりでした。出展された作品は左の3名の利用者様です。



出展者	作品名
土屋尚史さん	カラーフィッシュ
高久 順さん	日暮れ
※○○○さん	フルーツバスケット

※さんの氏名は非公表となります

平成26年度初バス外出

東京湾の絶景とこだわりのナチュラルリゾートを満喫

平成26年4月19日(土) 千葉県富津市にあるマザー牧場にいってきました。山の稜線を生かした大きな牧場で東京湾を眺めながらのお弁当は最高でした！

マザー牧場！



職員紹介

平成26年
4月1日付採用

支援員
河野 剛

支援員
金井 啓



支援員
柴田真利



よろしくお願いします

編集後記 ある日の活動

終了後。利用者に使っていたパズルを片づけてもらうためにわたくは、こう言いました。「帰る支度をするからそのパズル

なおしてくださいね。」

そう言われた利用者は、パズルを片づけることなくガムテープを取り出し破れていた箇所を修理はじめたのです。それを見た私は「いやいや直す

んじやなくて：んつと片づけてもらえますか？」

ようやく指定の場所にパズルを片づけてくれました。実は九州方面の方言で片づけることをなおすと言うのうです。長崎出身の私。今まで標準語だと思って普通に使っていた言葉なのです。うーん日本語ってホント難しいですね。